

## ケルン大学での留学生生活を半分終えて

2017年4月11日

筑波大学 知識情報・図書館学類 3年  
進 華奈子

9月のはじめにドイツに来てから約7ヶ月が経ちました。ドイツの寒い冬が終わって、最近では夏を感じるような暑い日になることもあり、大変過ごしやすくなりました。私のドイツでの生活も残すところ4ヶ月ほどです。ここでは日常の授業時間以外の生活のことについて紹介したいと思います。

基本的に1日に2~3コマの授業を取っている人がほとんどだと思います。わたしは1日何もない日を作りたくなかったので1週間授業を入れましたが、週休1~2日の人も多かったです。授業が午前で終わる日には大学の **Mensa**(食堂) で友達とご飯を食べたり、近くにある **Neumarkt** というショッピングストリートに買い物に出かけたり、学校のジムに行って運動したり様々な過ごし方ができます。ケルン大学には **Hochschulsport** や **Uni-sport** というサークルやクラブ活動のような体験ができる組織があり、球技やダンス、ヨガ、合気道といったようないろんな分野のスポーツを空きコマを利用して楽しむこともできます。また、ケルン大学には **Japanologie** という日本語学科があり、ほとんどの日本人留学生にはタンデムパートナーがいます。タンデムパートナーとはお互いの空いている時間を見つけて、日本語・ドイツ語を教え合ったり、楽しくおしゃべりをしたりしてとても楽しいです。数ヶ月に一回 **Japanologie** の学生が歓迎会やカラオケパーティーを開いてくれるので、そこでは日本語を勉強しているドイツの学生とおしゃべりしたり、ゲームで遊んだり、タンデムパートナーを見つけることも出来ます。

休日には、いろんな国の友達と各国の料理を作って持ち寄っていっしょに食べたり、友達の誕生日会をしたりもしました。**Efferen** という多くの学生が住んでいる学生村のようなところがあるのですが、そこではたくさん寮が隣り合っていて建っているため、学生同士の交流が盛んです。週末や3連休には旅行に出かける人が多いです。旅行に出かけたいけど自分で交通機関や宿泊先を予約するのが心配だとか、面倒だという人にぴったりの **Studifahrten** という組織があります。基本的に学生を対象としていて **Facebook** ページ上で情報が入手でき、

そこで参加の申し込みもできます。ツアーのようになっている上にとっても安い価格で参加することができます。ケルン以外の他の都市からもたくさんの参加者がいるので、友達を作ることもできます。

授業時間外の日常生活はこんな感じです。ここまで読み返していると遊んでばかりいるみたいですが、ちゃんと勉強もしています！大学内には、図書館やカフェなどの施設も充実しているので、現地の学生に混ざって勉強するのも良いですね。

留学なのでもちろん授業も大切ですが、そこで出会った友達に自分から積極的に話しかけたり、遊びに出かけようと声をかけたりすることで、英語やドイツ語を話す機会も自然と増えるし、より思い出の詰まった留學生活が送れると思うので、そういう勇気も私は必要だと思いました。来週から夏学期が始まるので、また新たな出会いが今から楽しみです。